

A photograph of two giant pandas in a natural habitat. One panda is perched high in a tree, looking towards the left. The other panda is lower down, also looking left. The background is a soft-focus view of a forest with green leaves and brown tree trunks.

1864

in the wild

知ろう 守ろう ジャイアントパンダ

1864。この数がなにか、知っていますか。

これは、中国にくらす野生のジャイアントパンダの数です。

シャオシャオとレイレイの仲間たちは、さまざまな課題に直面し、絶滅の危機に瀕しています。

私たちに何ができるのでしょうか？



恩賜上野動物園

詳しく知ろう！パンダのこと

ジャイアントパンダは不思議がいっぱいの動物です。

たとえば白黒のもよう、すんでいる場所、繁殖のしかた。そして何より...肉食動物の仲間なのにタケを食べていること！

ジャイアントパンダ

Giant panda

Ailuropoda melanoleuca

食肉目 クマ科

国際自然保護連合
IUCNのレッドリスト

VU

絶滅危惧Ⅱ類

大きな頭

かたいタケを噛みつぶすための筋肉が、あごから頭にかけて分厚くついています。そのため大きな丸顔に見えます。

鋭い牙と大きな奥歯

上下に2本ずつ生えた牙は、肉食動物の仲間の証し。奥歯は幅広で大きく、この歯でタケを噛みつぶします。



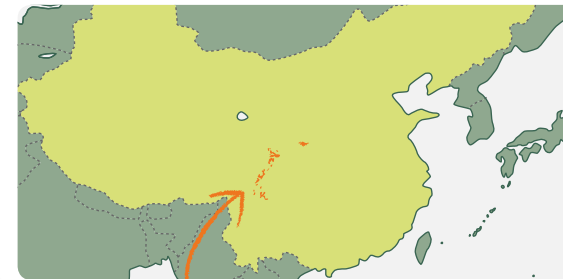
器用な前足

前足にはこぶのようなでっぱりがあり、5本の指と向き合って、タケをしっかりつかむことができます。大量のタケを効率よく食べる秘訣です。



生息地

中国の四川省・甘粛省・陝西省の高山帯、標高1300～3500mのタケが多く生えた森で生活しています。生息地の総面積は、九州の半分ほどしかありません。



ここにしかいない！

短い腸

植物の繊維は消化が難しいため、ふつう草食動物の腸はとても長いのですが（体長の7～20倍）、ジャイアントパンダの腸は他の肉食動物と同じく短いままです（体長の4～6倍）。

タケ色の糞

胃腸が短いので、食べたタケは2～3割ほどしか消化できず、色や形が残ったままで排泄されます。消化率が低い分、大量に食べる必要があります。

白黒もよう

①森の雪景色に溶け込んで敵から身を守る、②広い森の中で仲間を見つけやすい、③黒は熱を吸収するので手足や耳が冷えにくい、などいろいろな説があります。

単独でくらす

野生では、オスもメスもそれぞれ単独でくらしします。そのため子育ては母親だけで行います。子どもは生後1年半～2年で母親から離れ、ひとりぐらしを始めます。

繁殖

メスがオスの接近を許すのは、1年でたったの2～3日のみ。また受精卵がすぐに着床しないため、妊娠期間には80～200日と大きく幅があり、出産日を予測することはできません。

なぜ数が少ないの？

野生には1864頭しかいないジャイアントパンダ。その主な原因は、昔は白黒の毛皮を狙った乱獲、現在は生息地の開発です。そしてパンダの生態そのものにも、数が増えにくい要因があります。

低い生息密度

パンダが生きてためには大量のタケを含む広い森が必要です。そのため生息地での密度は15km²あたりに1頭、これは東京の山手線内に4頭しかいない状態です。

生息地の問題

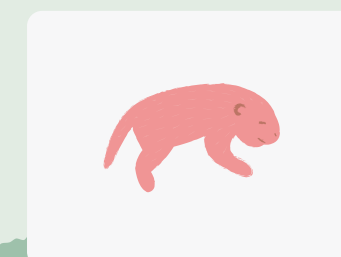
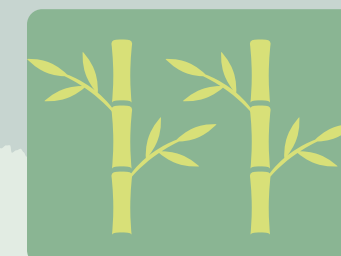
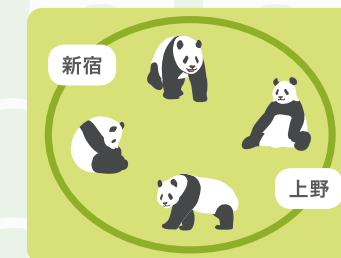
もともと狭い生息地が、森林の伐採や開発によりさらに減少しています。また細かく分断されてしまっているため、繁殖の相手を探すのが難しいのです。

えさの問題

数十年に一度、タケに花が咲き一斉に枯れてしまうと食糧難になります。開発や温暖化の影響で、生息域からタケがなくなることも懸念されています。

繁殖率の低さ

通常、とても未熟な子を1～2頭産みますが、野生では1頭しか育ちません。メスが生涯に育てる子どもは3頭ほどなので、いったん生息数が減るとなかなか回復できません。



絶滅が危惧される現状を改善するために、世界中の動物園や研究機関が協力して、パンダを守る取り組みを続けています。



子どもの成長

子どもはわずか100～150g（母親の1/1000）で生まれます。白黒のもようは生後1週間くらいから現れます。6ヵ月頃から、安全な木の上に登って休むようになります。1年で約30kgに、3歳頃におとなと同じ大きさになります。



上野動物園で生まれたシャオシャオ(左)とレイレイ(中央)



中国パンダ保護研究センターのパンダ

世界中で進む繁殖の取り組み

中国に限られた場所のみに生息するジャイアントパンダ。中国以外では22の国と地域、25の動物園で80頭が飼育されています。それぞれの動物園で、飼育・繁殖・研究に取り組み、成果を発表しあい、協力して技術を向上させています。一方、野生のパンダがくらす中国では、500頭以上のパンダが飼育されています。複数の基地・動物園で、2019年には60頭*の子どもが生まれました。

*2019年大熊貓繁殖技術委員会年会

500頭あまりの飼育個体では、今後遺伝子の多様性を保ち続けるために、繁殖を計画的におこなう必要があります。飼育されているすべての個体の情報が国際血統登録台帳に登録され、コンピューター解析による、適切な繁殖相手候補の選出が行われています。

しかし、ジャイアントパンダ自身にも「選り好み」があるため、自然な繁殖を行うには、メスが相性の良い相手を選ぶように複数の候補を用意できることが理想的です。そのため、中国以外の動物園で生まれた多くのジャイアントパンダは、繁殖相手に出会うために、中国に帰ることが決められています。

動物園で生まれたパンダたちは、次の世代を産み育て、今後もジャイアントパンダの種を存続させていく使命をもっているのです。

世界での飼育頭数

2022年8月現在
上野動物園調べ

そのほかの国と地域



日本



13

67

中国



500
以上

野生のパンダを守る取り組み

野生のパンダは、20に分断された小さな生息地にくらしています。その数は1864頭*。ジャイアントパンダは絶滅の可能性が高い、非常に危険な状況に置かれています。それぞれの生息地を広げ、つなげるために、中国政府はタケ林の回廊作りに乗り出しました。さらにパンダの生息地を自然保護区として、多様な野生動物を保護し、生態系を維持する取り組みや、飼育下で繁殖したパンダを野生復帰させる取り組みも始まっています。それらの結果、野生のパンダは2003年の調査から250頭以上増えました。

野生のパンダを絶滅の脅威から守り、次の世代に残していくことが、私たちの取り組みの大きなゴールなのです。

*2015年中国国林業局発表



パンダが生息する中国四川省の山



ジャイアントパンダ保護サポート基金

みなさまからの支援金を、上野動物園でのジャイアントパンダの生活環境の改善や繁殖研究、中国の野生個体を守る保護活動の資金として活用しています。募金や振込みによるご支援のほか、ロゴがついた商品の購入によってもご協力いただけます。